

奄美群島 旅のクレド

奄美群島の いのちを守るルール

奄美群島の海や森では、さまざまな生き物たちが暮らしています。

そこに人間が立ち入って観察するときには、動植物たちの生活を邪魔したり、刺激を与えたりしないように、
十分気を付けなければなりません。

1

ロードキル防止

事故を防ぎ、希少種を保護するために、特に夜間の山道などでは、ゆっくりとした速度で、人にも生き物にも優しい運転を心がけましょう。

2

希少野生動植物の捕獲・採取防止

奄美群島の希少な動植物は持ち帰るのではなく、その場で観察したり写真撮影したりしましょう。法律や条令で捕獲・採取が禁止されている場所、動植物種があります。

3

不法投棄の防止

不法投棄は、地域の景観を壊します。ゴミから出る有害物質が、土壌や水源を汚染したり、悪臭が発生したりするなどの原因になることもあります。

4

外来種等を持ち込まない・拡散しない

希少な動植物を保全するため、外来種を持ち込みや拡散を防ぎましょう。外部からの持ち込みはもちろん、在来種であっても人為的な持ち込みはやめましょう。

5

歩道や広場以外の場所に入らない

森林には、多くの希少な動植物が生息・生育しています。自然環境の保全のため、歩道や広場を外れて脇道や林内に立ち入らないようにしましょう。

6

エコツアーガイドのご利用

奄美群島での体験を良いものにしていただくよう、島の自然・文化を知り尽くしたガイドの同行を推奨しています。質の高い体験を安全にご案内します。

7

ゴミは必ず持ち帰る

環境の悪化や生態系への影響など広い範囲で深刻な問題になっています。自分の出したゴミは必ず持ち帰りましょう。また、落ちているゴミを拾うよう心掛けましょう。

8

各エリア独自のルールを守りましょう

島での自然観察やレジャーにはそれぞれに定められたローカルルールがあります。ルールを守り、旅を楽しみましょう。

奄美群島の魅力を守り、自然を楽しみながら島々を満喫し、
私たちにできることを考えましょう。